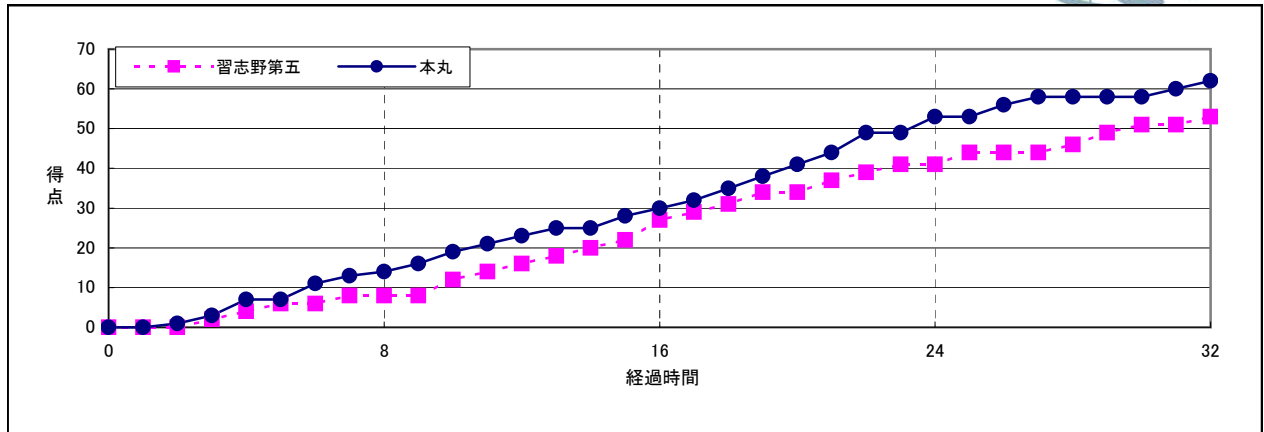


試合区分	3日目 男子 HAコート第2試合 決勝トーナメント準決勝		
日時	8月25日(月) 10:50 ~		
会場	東総合スポーツセンター		
結果	習志野第五	8 1st 14 19 2nd 16 14 3rd 23 12 4th 9 OT	本丸
	千葉		53
審判	主審 玉木 彰治	副審 浜本 伸	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

習志野第五							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	小松雅輝	×	20	2	6	2	0
5	西鶴大輔	×	7	0	3	1	3
6	山口大貴						
7	篠崎健						
8	石井竜也	×	12	0	6	0	1
9	菊池岬	×	6	0	3	0	2
10	手塚正義						
11	江原悠佑	×	8	0	3	2	4
12	高橋綾						
13	中川拓海						
14	飯田恵介						
15	神岡隼人						
16	徳永滋紀						
17	本山晃希						
18	須藤修史						
監	天田正弘						
C	天田正弘						
合計			53	2	21	5	10

本丸							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	藤井祐希	×	8	0	3	2	2
5	富樫勇樹	×	21	4	3	3	1
6	田中光	×	11	0	5	1	1
7	川崎龍太郎	×	3	0	1	1	2
8	反野駿太	/	3	1	0	0	0
9	溝坂太成	×	16	3	3	1	1
10	山宮弘毅						
11	平川啓太郎						
12	坂井俊太郎						
13	水戸大志						
14	木竜泰生						
15	本間翔太郎						
16	花野文昭						
17	佐々木和也						
18	羽田和寛						
監	富樫英樹						
C	田中利明						
合計			62	8	15	8	7

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

決勝進出がかかる両チームともに負けられない決戦。上手さの本丸。力強さの習志野第五の戦いとなる。開催地本丸の大応援団、それに劣らぬ習志野の応援団の熱気に包まれてのトスアップとなる。

前半、お互い戦術・戦略の手の内を知っているかのようにスローテンポのゲーム展開となる。しかし残り5分本丸#5のミドルシュート後、両チームのOffが機能しはじめ8-14の本丸リードで終了。

第2Q、本丸のスチールからのシュートによって得点。さらに#4の3Pが決まる。しかし習志野も立て続けに#8、#9、#4とミドルシュートを決める。残り5分に14-21と本丸リード。しかし、習志野の本丸#5へ対する厳しいDefにより、2分間得点が止まる。その間に習志野の#8がゴール下シュートを立て続けに決め、残り42秒、22-25と本丸3点リード。その後、本丸#5の3Pが決まるが、習志野も3Pで応戦する。残り7秒習志野#4のスチールからのランニングシュートに持ち込む残り1秒、本丸#4のミドルシュートで前半27-30で終了する。

第3Q本丸スローインでスタート。習志野#11のハイロープレーが機能する。しかし本丸#5、#9の3Pと立て続けにシュートを決める。さらにインサイドプレーが随所に見られた。インサイド同士気迫あるリバウンドの奪い合いがゲームの流れを左右する大きなきっかけとなり14-23で本丸が流れをつかんだ。

第4Qスタート直後、習志野#4の3P、その後ゲームが動き出したのが、残り4分3秒習志野#4のキレのあるドライブシュートをきっかけに流れをつくる。残り3分35秒、習志野は2-2-1から2-3のDefに切り替え逆転を狙うが、本丸#5、#4の巧みなドリブル、パスによりかわされ、チームファールが徐々に増える。習志野#5、#4はドライブシュートで応戦するが、始終本丸のペースで試合が進む。残り1分、習志野はタイムアウトをとりオールコートマンツートンにできるが、チームファールが増えることによって、本丸はフリースローにより加点。53-62で本丸が決勝に進出する。

両チームともに拮抗したゲーム展開であった。激戦区を勝ち抜いてきた強豪同士の応援団との一体感ある戦いであった。習志野第五は敗れたとはいえ、洗練された粘りとスピード、そしてボールに対する執着心の高い素晴らしいチームであった。